

労働条件を上げ
魅力ある航空に！

航空連ニュース

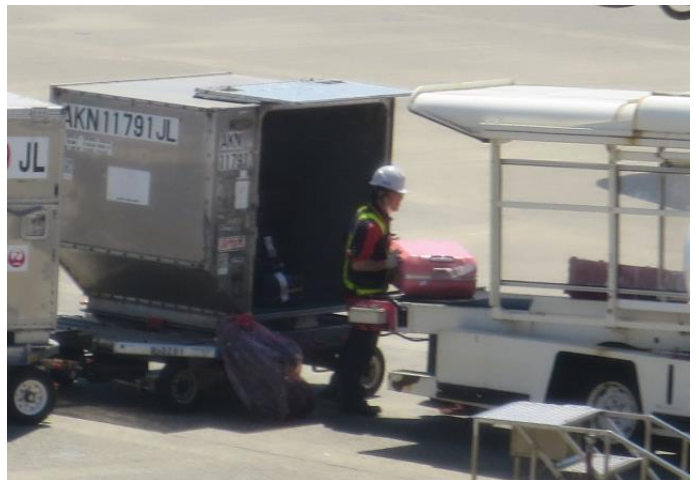
航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1045(38-3)2023年11月8日

・・・グランドハンドリング・・・

止まらない離職者 残業100時間超も

グランドハンドリングや保安検査業務に従事する労働者の人材不足に対処するために国交省が設けた有識者による検討会。10月初旬に8回目の検討会が開催され、人材確保の進展状況が報告されました。報告によると、採用活動により従業員数は増えているものの、人材流出が依然として続いていることが明らかになりました。今後の国際線の復便・増便に備え、離職者防止が緊急の課題になっています。

検討会の資料によると、各社は積極的な採用活動によって、従業員数は増えているものの、その一方で離職者が止まりません。特に旅客ハンドリングでは、7・8月の離職者数は採用者数を上回りました。また、人材確保のための賃上げ、その原資となる受託料の引き上げも行われ、新規受託に伴う業務負荷の軽減のための勤務管理なども行われているとされていますが、航空連には「月の残業が40時間を超え、100時間超の人もいる」との相談が寄せられています。人員についても、採用によって増加しているものの、従業員の6割が1年未満といったグラハン会社も報告されています。従業員の定着化を図るため、賃金を始めとした労働条件の改善が急務です。



手荷物を積み込むグラハン作業者

動き出すシニア労働条件見直し

人材確保に向け60歳以上の雇用者を対象にした労働条件の見直しが進みつつあります。今春闘では、成田空港で施設管理などを行うNAFCOで、60歳以上の再雇用者の賃金を59歳時点の50%から70%に引き上げました。ユナイテッド航空では、60歳からは短日もしくは短時間就労でしたが、62歳まで59歳時点の条件で雇用継続に見直しされました。

今年末では、JGSが再雇用者の65歳制限を68歳に引き上げると発表し、全日空では60歳以上のシニアパイロット賃金の諸手当について10%引き上げると回答しました。このように、人材確保が喫緊の課題になる中、各社で60歳以上の賃金や労働条件の見直しに向けた取り組みが進みつつあり、今年末闘争での特徴でもあります。

以上